

【課題解決型委員会】つくば中心市街地まちづくり調査検討委員会の設立について

○経緯

- つくば市では、つくば駅周辺の魅力あるまちづくりを目指し、2018年に「つくば中心市街地まちづくりヴィジョン」、2020年に「つくば中心市街地まちづくり戦略」を公表しました。
- 「つくば中心市街地まちづくりヴィジョン」においては、こんな街にしたいという未来志向のイメージを共有するためのコンセプトを3つ示し、「つくば中心市街地まちづくり戦略」においては、4つの方針や市が先頭に立ち優先的に進める8つのリーディングプロジェクトを掲げています。(参考資料 1・2)
- 戦略のリーディングプロジェクトの一つである「官民連携によるエリアマネジメントの推進」においては、2021年4月1日につくば駅周辺のまちづくりを担うエリアマネジメント団体(地域運営会社)を設立し、筑協にも参加することで、筑波研究学園都市のまちづくりに関わっていきたいと考えています。
- ヴィジョンや戦略に基づき、持続的で魅力あるまちづくりを推進していくためには、多様な主体の関わりや連携が重要であると考えており、筑協においては、研究機関や民間企業等、筑波研究学園都市の多様な主体が参画していることから、筑協会員と連携した取組みを検討するため、つくば市が委員長となり、新たに課題解決型委員会を立ち上げたいと考えています。

○委員会の概要

1. 委員会の名称
つくば中心市街地まちづくり調査検討委員会
(委員は資料 2_つくば中心市街地まちづくり調査検討委員名簿参照)
2. 委員会の目的
 - 筑波研究学園都市の国際性や科学技術を活用し、まちづくりを通じた社会

課題の解決に資する

- ・筑波研究学園都市の居住者や従業者の生活環境・満足度の向上に資する
- ・つくば駅周辺の各種取組の連携を推進するための調整及び情報共有

3. 委員会で企画検討する事項

- ・つくば駅周辺を実証・実装フィールドとした調査研究への活用
- ・研究機関や企業等、多様な主体が参加する筑協の特長を活かした会員機関同士が連携した取組の実施
- ・居住者や従業者の生活環境・満足度向上のための取組の実施
- ・その他、つくば駅周辺の各種取組の連携を推進するための調整及び情報共有

4. 委員会のメリット

- ・つくば駅周辺を実証・実装フィールドとする場合の調整がしやすくなる。
- ・会員機関の技術やサービス等の実証や実装について地域事業者等と連携し検討することができる。
- ・会員機関で連携した取組を行うことにより技術の進展や新たなサービス、ビジネスの創出につながる取組を検討することができる。
- ・会員機関の従業者等の満足度向上を図ることができる。
- ・つくば駅周辺の各種取組に係る調整や情報交換ができる。
- ・その他、会員機関の要望等を委員会での企画検討事項に活かすことができる。

5. 年間事業計画（案）

令和3年（2021年）9月

委員会の開催（委員会の目的及び企画検討事項についての意見交換、企画調整）

令和4年（2022年）2月

委員会の開催（委員会の目的及び企画検討事項についての意見交換、企画調整）

6. 年間予算

会議費（飲料代、消耗品費等） 10千円